

体験活動参加型・在宅取組型(小学校)

学校名等	大野町立北小学校
実施日時	① 令和5年10月24日(火) ② 冬休み
会場	① 北小学校体育館 ② 各家庭
参加人数	① 保護者17名・児童20名 ② 1年生親子(21組)
学習課題(分野)	家族で学ぼう、楽しもう(家族の大切さ)
運営者の願い	心身ともに健全な子どもを育むために、親子で課題をもって取り組み、ともに楽しんだり、活動をやりきったりすることを通して、ふれあいのよさを感じながら親子の絆を深めていくことができる。

学習の内容

<①サイエンスものづくり塾・エジソンの会によるサイエンスショー(体験活動参加型)>

10月に、北小学校体育館で実施。「サイエンスものづくり塾・エジソンの会」から講師2名を招き、様々な科学マジックをはじめとしたサイエンスショーに親子で参加した。風船を使った実験や、空気砲の実験などは、参加型で一緒にやらせていただいたので、親子ともに楽しみながら活動ができた。最後に、ペットボトルを使った簡単空気砲づくりを親子で協力して行い、親子のふれあいを高めることができた。



<児童・保護者の感想>

- ・ 「りか」っておもしろいです。空気ほうがおもしろかったです。
- ・ たくさんくぎの上ののってみても、いたくなかったのが、とてもふしぎでした。
- ・ 初めてのことに、子どもたちがドキドキワクワクしながら楽しそうに見ている姿や、積極的に手を挙げる姿を見ることができてよかったです。子どもも大人も勉強になる内容でした。

<②おひぎでどくしょ(在宅取組型)>

冬休みに、親子の心と体のふれあいを目的として、「おひぎでどくしょ」の取組を行った。冊数や本の内容、取組時間の指定はせず、子どもが親のひざに座って読み聞かせを楽しむ活動内容で実施した。子どもが選んだ絵本を親が読み聞かせたり、逆に子どもが読むのを、一緒にページをめくりながら聞いたりすることで、親子のきずなを深める活動となった。

<児童・保護者の感想>

- ・ ゆっくりよんでもらえて、うれしかったです。
- ・ ママのおひぎが気もちよかったです。
- ・ 少し長いお話だったので、開いた時には長くて無理!と言いましたが、読んであげるとイラストを見ながらしっかりと聞いてくれました。話の続きが早く知りたいようで、ページも自分でめくってくれました。



サイエンスショーは、親子で興味をもって取り組める活動となった。子どもが目をキラキラさせて積極的に活動に参加し、保護者も一緒になって楽しむことで、帰宅後も共に話題にできる効果があった。



読み聞かせは、親子の絆を深めるよい取組になる。久しぶりに子どもをひざの上ののせて、その成長をぐっと感じたという感想もあった。ここで深めた絆をこれからも大切にしていきたい。

